

美郷がいちばん、すきです美郷

第 **32** 号
2012.7.13

ふたし 議会だより



美郷中 心ひとつに 初優勝!

2 水がくる

4 均等割りを引き上げ

定例会概要	2
主な質疑	4
一般質問	6
臨時会概要	10
キラリ美郷人	12

水がくる

地域要望が実現

6月定例会を、6月5日から8日までの4日間の会期で開きました。審議した議案は、簡易水道設置条例の一部改正など15議案。そのすべてを、原案のとおり可決しました。

また、一般質問は4議員が登壇して町政をただし、陳情1件を趣旨採択としました。

今 定例会では、簡易水道千畑中央地区を延伸し、これまで簡易水道の要望が高かった長面地区や百目木地区などに給水する、千畑西部地区の簡易水道事業化を全員賛成で可決しました。

千 畑西部地区簡易水道事業は、地下水が潤沢な地域を経由して設置要望が高い地域まで敷設されます。計画区域全体では、加入率の向上が望まれますが、安全・安心な水道水を必要とする地域にとっては、待望の可決となりました。

一般会計補正予算

千屋・御田みた小学校交流が 4年連続で県事業に採択

そ の他、平成24年度一般会計補正予算では、歳入・歳出それぞれに4913万円を追加し、補正後の予算総額を113億4008万9千円としました。

主 な内容は、昭和52年から35年間続いている千屋小学校と港区・御田小学校の交流事業が、県が進めている『秋田発・子ども双方向交流プロジェクト事業』に4年連続で採択され追加した補助金90万円や、防災備蓄品整備経費356万2千円、子ども手当から児童手当へ移行するための予算の組み替えなどです。

以 下、本会議での主な質疑を4〜5Pに、一般質問を6〜9Pに、臨時会概要を10Pに掲載します。

千屋小学校での交流



割りを引き上げ

議会最終日の8日、議案に対する質疑、討論、採決を行いました。
主な質疑を要約しお伝えします。

条例改正

税条例の一部改正

内容 東日本大震災からの復興に向けた国の法律改正にともない、町が実施する防災施策の財源確保に、平成26年度から10年間の町民税均等割を500円引き上げる条例改正です。

500円の根拠は

森元議員 提案理由に防災施策に充てるとあるが、徴収では区分して徴収するか。また500円の根拠と、備蓄・食料品以外での施策内容を聞く。
税務課長 町民税の均等割は一般財源なので区分はしない。また、国の法律どおりに500円とした。
総務課長 防災無線など、防災のための施設維持管理費に充当する。

反対討論

泉(美)議員 今回の国の改正によって個人住民税の均等割が引き上げられ、県民税と合わせれば10000円の増額となる。依然として厳しい経済状況の下での住民負担増には賛成できない。
そもそも復興財源を庶民増税に求めることに反対だ。大企業や富裕層の減税を中止し、大企業の内部留保を活用するなどして財源の見直しを図るべきと考え反対する。

賛成討論

吉野議員 東日本大震災からの早期復興は、現在の日本の最重要課題だ。国と地方が連携し復興に立ち向かわなければならぬ。また、地方自治体が災害に備えるのは当然の務めと考える。
この税条例改正は、国の法律改正にともない条例を整備するものであり、また低所得

一般会計 補正予算

者に配慮し、均等割が付加される一定以上の所得者から軽く広く負担していただく内容なので賛成する。

衛生上設置する

深澤(均)議員 湯とびあ雁の里温泉の厨房に冷房を設置する理由を聞く。

商工観光交流課長

温泉振興会社では、現在、オードブルなどのメニュー拡大のため保健所と協議中だ。その際、衛生上設置が望ましいとの指摘があり設置する。

安全運転を喚起

武藤議員 美郷中学校の通路に看板を設置するがその内容を聞く。また、国の通学路の安全点検通達もある。完全に整備できるのはいつ頃か。
教育施設課長 車のドライバ

国保特別会計 補正予算

どう予測した

武藤議員 当初予算を減額したが、医療費の動向をどう予測して年間予算を立てたか。また、現在の基金額を聞く。
福祉保健課長 町の医療費は、入・通院ともに年々微増し、一般保険者の月平均額が1億1000万円ほどに達した。また、6・11月の農繁期を過ぎた月に伸びる傾向だが、23年度の6月は1億3000万円ほどとなり予算編成した。しかし、予測より医療費が下回ったことによる繰り越し財源と、国保連の算定誤りによる返還金の約2億5000万円を充てて据え置くこととした。
基金残高は、24年度末の見込みとして870万円ほどだ。

災害に備え、均等

1に安全運転を喚起するため、中学校にアクセスする4路線の15箇所に設置する。
通達がある都度点検し、横断歩道や信号機設置、幅員の狭い箇所の改良などを関係機関にお願している。できるだけ早い時期に支障を改善したい。

交通事故対策は

泉(美)議員 全国的に小学生の登下校時の事故が多い。国の通達の対応や、町の現状と安全対策を聞く。
教育長 通達のたび毎に学校へ伝えている。

国・県道の歩道の確保は、地域振興局や県議会議員との懇談の場で地図を示し、繰り



災害備品を保管する水防倉庫(旧六郷給食センター)

返し要望しているが実現しない。しかし、PTAなどと連携を深め事故防止に努めたい。また町道では、土地所有者の理解を得ながら対処していきたい。

選定基準は

戸澤議員 上鐮田地区の自主防災組織に(財)自治総合センターが200万円補助するが、選定基準を聞く。

住民生活課長

この自主防災組織助成金は、毎年3月に県の取りまとめがあり、組織や行政区代表に応募希望の通知を出している。事業費は30万円以上200万円未満で、今年度は2集落から要望があったが、一人暮らしや要援護者

設置時の状況は

中村(美)議員 宅地内の消火栓を移設するが、設置時の状況を聞く。

住民生活課長 消火栓は、基本的に同意を得て設置される。現在は官地に設置している。今回のケースは設置時の経緯がわからず、宅地面積も狭いので支障をきたしており移転する。

全部撤去すべきだ

森元議員 カントリーパーク野球場のダックアウトを解体するが、利用率を考え、ベイスやフェンスなど全部撤去すべきではないか。

建設課長

利用状況は8月に10回ほど、他の月では土日に使用されている。しかし、公園全体のあり方を検証し、議員提案の趣旨も検討する。

国際教養大学との連携を 町長「検討したい」



熊谷 隆一 議員

町長 国際教養大学との連携は、専門分野の研究成果や知的財産の活用を目的とした秋田大学との連携とは異なる姿が想定される。町では、中学生を対象に国際

議員 秋田大学と連携して町のキーワードの水を活かす取り組みは、産学連携も含め基幹産業である農業部門の発展に大きく寄与すると期待される。
それに加えて、国際教養大学との連携に取り組む考えはないか。この大学は英語での授業や一年間の海外留学制度、外国留学生の受け入れなど学校運営の評価が高く、就職率も良い。このように秋田が誇れる大学の特色をまちづくりに活かすべきだ。



国際教養大学のキャンパス

感覚の醸成と日本のよさを再確認することなどを目的に、中学生国際交流事業を実施している。
提案趣旨は町の考え方の同一線上にあり、これまでの事業成果を検証し検討したい。

特色ある米の販売を

議員 道の駅での精米や玄米の販売状況と匠など特色ある品揃え、また店頭精米などの販売方法について聞く。

町長 昨年は6人の出荷者

と1業者が販売し、販売額は玄米で約240万円、精米で340万円で数量が約15・3トンだ。
こだわり米など特色ある商品は、うるち米2品種、もち米1品種の3品種で無洗米も含まれている。レストランでは、米の精によるこだわり米を提供しており美郷米のPRを積極的に行っている。
また、店頭精米などの今摺り販売は考えていない。

3期目に向けた決意は



深沢 義一 議員

議員 松田町政は、融和と前進のもと町民のだけれども「任んでよかった、住みつけたいと思える町」を将来像に見据え、合併後10年間の前期をステップアップ、後期をジャンプアップと位置づけて一步一步着実な美郷づくりを進めてきた。
特に2期目は、各課連携のプロジェクト事業展開や公共施設の統合整備など美郷の基礎固めをしつかり進めた4年間であり、町の将来像がはつきり見えてきた。

これは、住民と町・議会が一緒になった協働のまちづくりの成果だが、町長のリーダーシップによるところも大きいと考える。
その松田町政が、11月に改選期を迎える。町長の、これまでのまちづくりへの思いと改選に向けた考えを聞く。

と認識している。
これまで、合併自治体の大きな課題である公共施設の再編整備では、役場庁舎の統合を皮切りに公民館や保健センター、図書館などの統合を推進してきた。また、小中学校の統廃合も計画的に具現化してきた。
しかし、千畑・仙南地区の小中学校統合や、空いた学校施設の活用は未だ途上だ。また、美郷カラーの確立や観光を含めた商・工・農業の産業

振興、そのうえで交流人口拡大なども途上であり、引き続き一貫した思想と視点での取り組みを重ねる意欲が高まってきた。
そのため、これまでの取り組みと成果を踏まえながら、町民一人ひとりが心から誇りに思える美郷町の姿に近づけるよう引き続き全身全霊でまちづくりに汗を流したく、次任期への挑戦の意思を表明する。

一般質問

町長「全身全霊でまちづくりに汗を流したい」

質問者

深沢 義一 議員

◇改選に向けての考えは

熊谷 隆一 議員

◇秋田国際教養大学との連携について

◇道の駅における米の販売について

深澤 均 議員

◇町の園芸作物の現状と今後の取り組みについて

◇男女共同参画推進への町の取り組みについて

泉 美和子 議員

◇安心して暮らせる町づくりを

◇国保税の引き下げを

社会的孤立を生まない地域づくりを 町長「地域でのつながりの 強化に努める」



泉 美和子 議員

町長 ①現在町では、社会福祉協議会や民生児童委員協議会などの関係団体、美郷見守

泉(美) 議員 だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、町長の見解を聞く。
①社会的孤立を生まない地域づくりを進めるための、現状と対策を聞く。
②制度の枠からはみ出る『気になる』家庭の把握が重要だ。実態調査とその対応を聞く。
③生活困窮での滞納者には、情報の共有・一元化で生活全体像を把握し、滞納回収で終わらずに、生活再建支援の働きかけが重要だ。
④町が、住民を守るセーフティネットとして機能するために、ライフラインは供給停止しないこと。

りチームなどと連携を図り地域全体で支える体制を構築している。そのうえで、様々な相談窓口を開設し、ふれあい電話事業や配食サービス事業などを実施して、地域のつながりの強化に努めている。
②町では『気になる』高齢者を対象に高齢者実態把握事業を社会福祉協議会に委託して実施し、23年度186人の調査をした。24年度は300人を対象に行う。
③滞納徴収は、税務課滞納対策班と担当課が連携し、納税相談や臨戸訪問で納付能力の有無を判断して対応している。生活再建への取り組みが必要な場合は、県の消費生活センターなどを紹介している。また、生活困窮状況が生活保護基準以下の場合には徴収を保留し執行停止手続きをしている。
④水道の給水停止は、支払い能力がありながら納入しない方や、納入に誠意が見られない方などに給水停止することができると定めているが、督促状や訪問などの対応で実際の給水停止措置には至っていない。



相談窓口のある福祉センター

国保税の引き下げを
泉(美) 議員 長引く不況のもと、雇用不安の広がりや年金引き下げなど、国保加入者の暮らしはますます厳しくなっている。
今回は税を据え置くが、住民の立場に立つて繰越金や一般会計からの繰り入れなどあらゆる財源を活用し、国保税

の引き下げを求める。
町長 国民健康保険特別会計の原則や保険税の水準を勘案すれば、税率を据え置く今定例会での補正内容は適切な判断と認識している。
被保険者が減少し、かつ医療費が上昇している中、税率を引き下げる財源を法定外繰入に求めることは国保制度にそぐわない。

生産者同士の交流を 町長「交流の場の創出を提案していく」



しいたけパッケージセンター

議員 町の米に次ぐ園芸作物は何か。また、主な園芸作物の現状と推移、今後の園芸作物の振興策を聞く。
また町の園芸は、広域2農協で取り組んでいるが、同じ作物、園芸に取り組む

ながらも生産者同士の交流や情報交換の機会がなく残念だ。
町の園芸振興の観点から今後何らかの交流機会が生産者・町にとって有益と考える。

町長 米に次ぐ作物は、作付面積上はエダマメ40・5haで、販売額はシイタケ1億3970万円だ。着実に定着拡大の傾向で推移していると認識している。
今後の振興策としては、引き続き生産環境の整備に向けたハードの支援事業や、農業経営の収支構造の改善に向けたソフトの支援事業などで支援していく。

交流の場の創出は、広域2農協に対して組織を越えた交流をしていただくよう提案していく。

推進への取り組みは

議員 ①「美郷町男女共同参画みさと計画」では、行政施策への女性の意見反映

の機会拡大として、各種委員会の比率の公表や参画の促進とあるが、どのような現状か。また、その最前線ともいべき町職員女性の管理職の比率はどれくらいか。
②今後、地域社会の少子高齢化の進行を考えると、自治体や行政関連組織などへの女性の参画は大事だ。みさと計画のこれまでの推進の評価と課題をどう考えるか。

町長 ①教育委員会などの行政委員会では、35人中女性3人で8・6%だ。委員の選出は役職で選出する事例が多く、結果的に男性の割合が高い。女性管理職は、管理職17名中1名で5・9%だ。

②一定の成果を上げているものと評価している。しかし、若い男性や父親世代の事業参加が少なく、こうした年代の意識づくりや、仕事と育児、介護の両立のため制度の一層の定着なども課題だ。



深澤 均 議員

第6回議会定例会提出議案一覧 (6/5~8)

議案第48号	秋田県町村土地開発公社の解散について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第49号	秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第50号	美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第51号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第52号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第53号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第54号	美郷町印鑑条例及び美郷町手数料条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第55号	美郷町税条例の一部改正について	〈賛成15人：反対2人で原案可決〉
議案第56号	美郷町簡易水道設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第57号	美郷町簡易水道給水条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第58号	平成24年度美郷町一般会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第59号	平成24年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第60号	平成24年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第61号	平成24年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第62号	平成24年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	中村美智男	熊谷良夫	伊藤福章	武藤威	森元淑雄	中村利昭	吉野久	福田守	泉美和子	泉繁夫	杉澤隆一	澁谷俊二	深澤均	戸澤勉	熊谷隆一	飛澤龍石工門	深沢義一	高橋猛		
◎平成24年第6回議会定例会																				
議案第55号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願・陳情

趣旨採択としました

◇公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部 大曲支部執行委員長 石渡 志夫

〔採択すべきとする意見〕
泉(美)議員 趣旨採択は、意見書を提出しないということだ。陳情の願意が理解できるのであれば、採択して意見書を提出すべきだ。この陳情の趣旨には賛成であり、委員長報告には反対する。

〔教育民生 常任委員長報告〕
年金受給世代の生活に余裕はなく、陳情の願意は理解できる。しかし、年金納入世代の負担を考えれば、採択して意見書を提出するには至らないため、趣旨採択とする。

みさと議会だより 第31号 クイズ

★クイズ回答

【問1】平成24年度一般会計予算は〇〇〇億9472万円。

【回答】 112

【問2】地販地消推進条例に「〇〇〇〇」の基本理念を追加。

【回答】 地産外商

◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。

佐藤 民子 様

熊谷 順子 様

泉谷 瀬里佳 様

第5回臨時会

六郷幼稚園・保育園 建築工事に 7億6545万円

5月18日第5回臨時会を開催し、工事請負契約の締結や、平成24年度一般会計予算を審議して、原案を全員賛成で可決しました。

工事請負契約の内容は、認定こども園六郷幼稚園・六郷保育園建築工事を7億6545万円で、千屋小学校校舎棟改修工事を1億3860万円で、北ふれあい館施設改修工事を6279万円で、いずれも町内業者と請負契約を締結するものです。また、補正予算の主な内容は、雪害により破損した町道、公園施設などの修繕に要する経費で、歳入・歳出それぞれに1481万円を追加して、総額を112億9095万9千円としました。

第4回臨時会

暴風被害の 復旧に助成

4月26日第4回臨時会を開催し、平成24年度一般会計予算を審議して、原案を全員賛成で可決しました。

補正予算の主な内容は、4月3日から4日の暴風により被害を被った農業生産施設や商業施設の復旧に要する費用の一部助成、公共施設の修繕に要する経費などで、歳入・歳出それぞれに3502万3千円を追加して、総額を112億7614万9千円としました。



第4回議会臨時会提出議案一覧 (4/26)

議案第41号 平成24年度美郷町一般会計補正予算第2号

〈全員賛成で原案可決〉

第5回議会臨時会提出議案一覧 (5/18)

議案第42号 工事請負契約の締結について

〈全員賛成で原案可決〉

議案第43号 工事請負契約の締結について

〈全員賛成で原案可決〉

議案第44号 工事請負契約の締結について

〈全員賛成で原案可決〉

議案第45号 工事請負契約の締結について

〈全員賛成で原案可決〉

議案第46号 工事請負契約の締結について

〈全員賛成で原案可決〉

議案第47号 平成24年度美郷町一般会計補正予算第3号

〈全員賛成で原案可決〉

シリーズ キラリ美郷人 vol.27



庄司 向志
188cm・135kg

鈴木 涼汰
185cm・115kg

鈴木 源汰
184cm・125kg

つわもの 3人の強者達

横手高校 相撲部
(仙南中出身 3年生)

中堅
副将
大将

鈴木 涼汰
鈴木 源汰
庄司 向志



横手高校には、部員3人だけの相撲部があります。3人ともに仙南中学校出身で、8月3日から5日に長野県で開催される全国高校総体(インターハイ)相撲競技に秋田県代表として個人種目、団体種目、それぞれに出場します。

6月に行なわれた秋田県大会

? クイズ

問1 千屋・〇〇小学校交流が県事業に採択

問2 防災施策の財源確保に町民税均等割り〇〇〇円引き上げ

…〇に入る言葉や数字などをお答えください…

応募方法/ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先/ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10 美郷町議会事務局 議会だより係

締切日/ 平成24年8月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、9月上旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。

(インターハイ予選)では個人選手権で、鈴木源汰君優勝、庄司向志君準優勝、鈴木涼汰君3位と上位を独占し、団体戦では一つの取りこぼしもなく優勝しました。特に団体戦は、5人制のため、3人だけの横手高校にとっては一人の負けもゆるされない状況の中の戦いで、かなりのプレッシャーもあったようです。源汰君と涼汰君は双子の兄弟で向志君とは幼なじみです。3年前も、3人で全県中学校相撲大会、団体戦を全勝優勝で制覇し、そして横手高校へ進学した強者達で

す。進学後は、自転車通学し、授業が終わってからの午後5時頃から3時間程、仙南中の相撲場で練習し帰宅。夕食をすませ、勉強して寝るのはほとんど翌日のこと「勉強との両立は厳しかったけれど、その分気持ちも強くなったと思う」と話してくれました。インターハイに向けては「取りこぼしのないよう、気を引きしめて、まずは予選突破」とひかえめな目標でしたが、3人で望む最後の一大一番、並々ならぬ闘志を感じました。